準仕様書改正等対応表						標準任様書改定内容																					
改止・妄望内容	標準仕様書 への反映 機能要件	中 帳票要件	士様書分類 印字項日・ 帳票レイア 業務フロ- 議元表	ID ID	要件名	要件(変更前)	要件(変更後)	備考	区分 対応内	容とご確認事項 区分	A市 詳細	区分	B市 詳細	区分	C市 詳細	区分	D市 詳細	区分	E市 詳細	区分	F市 詳細	G市 区分 詳	B 区分	H市 詳細	区分	詳細	区分
制改正による標準仕様書見直し 特になし x																											
方療法以外の法令・制度・システム等の改正による標準 はLAK交配に件い、開始をから表があった。 電子ファイルを用いた定型間へおわせ機能(定 型態会)が追加となるため、それに伴う機能要件 の拡充を執り行う。	単仕棟書見直 ○ ●			100743	5.2. 他団体等からの那会	試当機能なし	個税局及が税務者から期金があった個人住民税課税情報の 販売対象者情報を取り込めること。 実施区分:実施必須	議者:詳細は地方校共同機構より 示された「eLTAX5期更成こおけ ら見機争者製料」を確認するこ と。 要やの考え方・理由:地方団体と 関係局・見影響の場合・同答に関 して必要な情報をもり取りするた めの要件として定義している。	への賛否: い。 質問 (2) 修: 修正判定:	機能要件の要件化 をご回答くださ 正よる不都合や 質成 等の意見がある場 理由をご回答くだ		雙成	(1) 類成	雙成	(1)策成 (2)特になし	質成		赞成	(1) 賛成 (2) 意見なし	製液		類状	赞成	(1)資成 (2)ただし、支援措施対 者等の「取扱注意者」 いでは、最初せる時報 ボッフアップによる注 起など)が必須と考え	:つ え 賛成 : 強	1) 賛成 2) 特になし	鐘成
aLTAX更改に伴い、国税局・税務署から地方団体 ・電子ファイルを用いた定間側い合わせ機能(近 型船会)が追加となるため、それに伴う機能要件 の拡充を執り行う。	· •			100744	5.2. 他団体等からの報会	該当機能なし	面税局及が税務署から期金があった個人住民税課税情報に 対する函額をCSV形式で出力できること。 実義区分:実義必須	備者:詳細は地方院共同機構より 示された「eLTAX5期度のだおけ ら見様参考別と確認すること。 まやの考え方・理由:地力団体と 国地院・税券署の場合:日落に関 して必要な情報をやり取りするための要件として変異している。	(1) 本 への賛否 い。 質問 (2) 修正判定:	機能要件の要件化 をご問答くださ 正による不都合や 関成 での意見がある場 理由をご問答くだ		獎成	(1) 製成	獎成	(1)粉成 (3)粉になし	赞成		競成	(1) 養成 (2) 患是なし	製成		競戏	赞成	(1)関成 (2)特になし		1)対成 2)特になし	競成
最級収票の提出方法等の見算しによる標準性特徴早期 要要機収票の提出方法等の値正に伴い、提出された結 予定払、特当等・一分は取りデーク連携する必要がある ため、それに伴う機能要件の拡充を軟が行う。	0			0100745	1.4. 中告情報等登録処理	製当機能なし	eLTAX形式以外で提出された総与支払概合書データ及び公 的年金等ま払報合書データについて、国際連携システムへ 登録するCSVデータを作成できること。 実施区分:実施必須	隔等: 結署・年報のデータ連携に 係る仕様章 (保持) (初版を令和 7 年4 月中に公開予定) を以て、 報布ですること。 要中の考え方・理由: 一向とし て、課程與計成込程の必原。 さ 付用CSVファイルを出力する機能 を想定している。 使用着长江原原版双票の提出をし たものとみなされる。令和9年1 月以降に物時が足、提出された。 第五年 第五年 第五年 第五年 第五年 第五年 第五年 第五年 第五年 第五年	(1) 本 への賛否 い。 (2) 修 修正判定	機能要件の要件化 をご問答くださ 正による不動を 可の意見がある場 理由をご問答くだ		獎成	(1) 類成	製成	(1)削成 (2)持になし	競成		養成	(1) 賛成 (2) 「はITAX形式以 り、には影が含まれるとい う物授で問答します。 一般のデッタとイメージ データが選携されます。 (3) 「サータンの発力を があれたの対象が、例本であり、 は り申したの対象が大力でデータ連 (4) 「中で、 (4) 「中で、 (5) 「中で、 (5) 「中で、 (5) 「中で、 (6) 「中で、 (6) 「中で、 (6) 「中で、 (7) 「中で (7) 「中で (デー州 デーが チしてい 月につい がら入さ、 チしてい PDFで る。	一列はELTA以外は でできていない、当初 こいては振想せんで、 おび、加工が必要、例 いては現場を確認しな かしてものできない。 ない、ないためさらに難しい、 伝えてき物をしてい	類状	频成	(1)Mets (2)MeCtrL		1) 賛成 2) 特になし	競成
源泉郷収重の提出方法等の修正に作い、理出された総 与支払い報告報子・分質のマーケ連携する必要がある ため、それに作う機能要件の拡充を軟が行う。						製当機能なし	eLTAX形式以外で提出された総与支払報告書データ及び公 的等金等支払報告書データについて、国際連携システムへ 登録するCSVデータをアップロードのため1つのZPファイ Aに圧縮できること。 実施区分:標準オプション	係る仕様書 (仮称) (初版を令和	(1) 村への黄杏 い。 (2) 一	機能要件の要件化 をご回答くださ ぶら明白油体より、 ふら明白自体なの規	(2)対成						(2)M成		源に係らせ体育においてす。 メージデータの温素が必要 となったデータの出力機能に ついても記載すべきと考え ます。	「複数	カファイル Jとして CSVに ててもよいのではないか 或	実装区分を実 とに関加します。	必須とするこ				
2	0			0100746	1.4. 申告情報等登録処理			tve.	概にかかれ 取材が大 数も多く、 える」たい てほしい、 ました。 須とする。 答くださ (3)修 修正判定は	わらず、近隣市区 都市の場合回送件 、必要な機能と考 め、実装必須とし という意見があり 実装区分を実装必 ことの質否をご回		雙成	(1) 賴成 (2) 賴成	雙成	(1)削減 (2)無見なし (3)特になし	赞成		雙成	(1) 獎成 (2) 獎成 (3) 惠是なし	黄成		賴成	雖成	(1)開成 (2)開成 (3)特になし	雙成 (2	1) 賛成 2) 賛成 3) 特になし	競成
今回新たに追加する予定の機能要件について、国 税別への連携対象となるデータにeLTAX提出分が 含まれていないため、本機能を新たに追加する必 要があるのではないか。	0			100747	1.4. 申告情報等登録処理	試当機能なし	課税資料ごとに提出区分(eLTAX、eLTAX以外)を管理で さること 実装区分:実装必須		への賛否 い。 質問 (2)修 修正判定	機能要件の要件化 をご回答くださ 正による不能合や 質成 等の意見がある場 理由をご回答くだ		雙成	(1) 黄成	雙成	(1)関成 (3)物になし	雙成		贊成	(1) 製成 (2) 悲見なし	製成		赖成	赞成	(1)軽成 (2)特になし	養成 (1)	1) 賛成 2) 特になし	贊成

J市 詳細	区分	デジタル庁	区分	K	区分	詳細	区分	M 詳細	区分	N 詳細	区分	O評細	区分	P 詳細	区分	Q 詳細	賛成	反対	その他	
	競成	異論ございませんが、見 機参考資料を基として項 目代について、どのよう な対応を想定されている かご教示ください。	雙成	・本機能に係る機能の公割を キュントにIAXS 開度改 に応む仕様権(指定的)と を利了年3月3日に公開 予定です。そのため、傷老衛 の配載だ「EAXS 開度改 に自は入る「開産改 に自は入る「開産改 にはなる「最佳を が は が は で に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に の に の に に が に に が に に が に に が に に が に に が に に が に に が に に が に に が に に が に に が に に に が に に に に に に に に に に に に に	赞成		雙成	(1) 賛成 (2) 要件に「取り込めること」とあるが、あくまで 機能回「100744」のCSV データを出力するための対 象データとして利用するもの (インブットファイルの (インブットファイルの (インブットファイルの (インブットで) 新産差針状況の学の 高差針状況の学の (インブットで) (インブットで) (本達) (インブットで) (本達) (インブットで) (本達) (インブットで) (本達) (インブットで) (本達) (インブットで) (本達) (インブットで) (イ	雙成	(1) 特に問題ありません。 (2) 回答できる情報に想 字性様 (基本データリス ト) で 必須 (突装類型: の) のものに限りますので、 その点について考慮 頂きたいです。	その他	(1) 要件化は問題ありません。実施区分は標準するというというというともえます。 (2) 数団体様にヒアリングしておりますが、回税を 例っておりますが、回税を 所、月に2~200円の日本を 例っており、また、記載さ インストンが低いように が、まり、大きない。 はまり、大きない。 はまり、大きない。 はまり、大きない。 はまり、大きない。 はないというというというというというというというというというというというというという	雙成	(1) 賛成 (2) 特になし	反対	語学システムの部の込み機能は不要を表す。 理能しては、「eLTAXS期 実施しては、「eLTAXS期 には、最多対象を情報を行 がありましては正義ないてあらず。 総合対象を情報を他の込んと他。 であることである。 であることである。 なか、不悪です。 は、国際連携が入れたが必 会子・使学ウンロードして に、SVアプイルで概定できると、 め、本要件についてはだ意本。 をしての課業オブラン・機能が受 さらが要素オブラン・機能が受 当であると考えます。	14	1		源蔵した意見により、備考療を下記の通り、修正する。 【修正書】 (第4個集 7個出地力税共同機構より示された「eLTAXS原更改における見機参考資料」を確認 1 すること。 【修正書】 (後正書) (後正書) (本1AXS原更改に係る仕機書)を確認すること。
	競成	異論ございません。	養成	・本機能に係る機能の公開 ・本機能に係ると関連改 に係る仕機能(係定的)と ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			雙成	(1) 競成(2) -	赞成	(1) 特に問題ありません。 (2) 国答できる情報に想 実性様 (基本が一タリスト) ・ の ぶ (天装類型: の) のものに限りますので、 その点について考慮 頂きたいです。	その他	(1) 要件化は問題ありません。実施区分は標準本プます。 マル、実施区分は標準本プます。 (2) 取込回様ですが、利 用機反が低いことに加え、 最終的に低での確認を要認 気がある。 データ出きに低いため、 データ出きに加え出力の 気がある。概要の準 位のメリットが低いまら、 思いますので、実装に区分は 標準本プションが妥合では ないでしょうか。	雙成	(1) 賛成 (2) 特になし	反対	東級の旗ではいて概率すどう 上です。 理能しては、「「住しれく別 理能しては、「「住しれく別 理能しては、「「住しれく別 の名ですると考えます。」 があったとなり物語・一般 があったとなり物語・一般 があったとなり物語・一般 があったとなりが表す。 があったとなりが表す。 表がようななのと様々なないであった。 表がようななのとなりであった。 にも選手が表かった。 にも選手が表かった。 をはる選手が関連で随答用 ファイルの中点が難しい場合で、 ではる選手が関係である。 ではる選手が関係である。 ではる選手が関係である。 ではる選手が関係である。 ではる選手が関係である。 ではる選手があります。 があります。 の語性があります。	16	. 1		深刻した意見により、俳号版を下記の通り、修正する。 【修正書】 (第三書) (第二章) 「詳細し地力税共同機構より示された「eLTAXS原更改における見機参考資料」を確認 1 すること。 (修正書) (第二章) 「詳細し地力税共同機構より示された「eLTAXS原更改における見機参考資料」及び 「eLTAXS原更改に係る仕機書」を確認すること。
	赞成	異論ございません。	競成		赞成		贊成	(1) 類成(2) -	贊成	(1) 特に問題ありません。 (2) 固答できる情報は想 単仕様(基本データリス ト) で 必須(実装類型: ②) のものに駆りますので、 その点について考慮 頂きたいです。	雙成	(3) 製成です。 (2) 特にありません	その他	(1) 条件付きで製造。 「在IXV形式以外で提出された」に転め能解 等が含まれる場合、結解等の個人住民契据機が は必要を原用のカデータをして管理しているため一部用目は定当することが考えられる が良いか。(全アータの出力が必要を入りませる。 か、ステムの展理マスタの定乱、およびデータ が放い物理マスタの定乱、およびデータ に対象する。 (2) の此「XXV町間間がなければ本件の要件 に実施する。 (2) の此「XXV町間間がなければ本件の要件 にていませた。 (2) のに「XXV では、自治体で発生した。 (2) のに「XXV では、自治体で発生した。 (3) のに「XXV では、自治体では、自体体では、	反対	eLTAX形式以外の課税資料 についご課税資料のかい込み 物に、例えば、所令の汇報 りなど外る場合は、犯職却 するのか、それた犯難却か 等のか、それた犯難却か 様正した歌の神と述付する のかなど、現時血で仕様や漢 用の詳細や不知が多一条件 化は招難と考えます。	15	2		1 本機能要件について、変更素の通り変更する。・多くの構成員より賛成の回答をいただいたため
(2)黄成	その他	市町村の実務に関する事 項のため、回語を経えま す。	その他	本機能の要件化は制度よび。 まずが、実施にかたついては 回答する立場にない、という認 度でおります。			雙成	(1) 賛成 (2) 一部の自治体からの 意見であれば「標準ギブ ション」が完当と判断す る。 (3) -	赞成	(1) 実長の原とまでは、 よず、標準ネインョンでよいと考えます。 (2) 一部自治体様のご信 見とのことですが、弊社加 当自治体様からは 実施の見とてほし にという原見は学がってき であないと考えます。 (3) 国税連携システル側 アピアナイルのからなっ アピアナイルのからなっ でいるか、 複数にソファイルの 中身の整合性 (レイアウト が広SVファイルの 中身の理がは、 複数にリンティルの での確認が関係となるので はないか無念されます。	養成	(1) 質成です。 (2) 配股の意見は本機能に は当てはまっないと思われ ます。システムによっては ます。システムによっては ます。システムによっては がかる要で、2)PIC配給され でいると会計手間がかかる ケースも考えられるため、 実験必須とすることは反対 します。 (3)特にありません		(1) 製成	反対	(2) 反対 (3) 電量としては、Windoweの標 準機定では照が可能である。 た。また、CSY―の回離型が 発生するかもしれないためで す。	15	1		2 本機能要件について、変更素の通り変更する。 - 多くの構成員より質点の回答をいただいたため
	その他	申告書系のグループごと に「提出区分」を追加す あ必要があるか」にお見 受けいたします。必要と 型といるグループを基本 データリストのグループ 構成表よりご教示いただ けますか。	競成		赞成		贊成	(1) 算成 (2) 提出区分をシステム でどのように利用するが 軟気小いたざきたい。 た、区分追加に伴い、デー タ栗件の改成子定があると 認識してよいか。		 (1) 課税資料ごとに提出 区分 (eLTAX)に 外) を管理することについて、 特に問題ありません。 (2) 特にありません。 		 (1) 製成です。 (2) 特にありません 	養成	(1) 賛成 (2) 特になし	赞成	本要件の前提として「源泉 施図書の提出力法等の見麗 しによる標準仕様書見裏 し」に関する内容として図 等します。 質成ですが、様正が必要と 考えます。 「課役費料」という記載では、全ての配数質料が対象 に変えられるので、総与文 に変えられるので、総与文 を発表を明記する必要があ ると考えます。	17	. 0		議員した意見により、機能を下記の通り、修正する。 [第三節] 「銀三節」 「銀金貨幣」とに受出区分(他LTAX、eLTAX以外)を管理できること 「第三節」 「銀金貨幣」(住民保守書業、総与支払報告業、公的支金等支払報告書)ごとに提出区分(延提出分、光ディスク提出分、4、「AX提出分、不等)を管理できること